

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年2月20日

事業所名 愛の木放課後等デイサービス ju-sin

保護者等数（児童数） 7（7）

回収数7

割合 100%

* 頂いたご意見は抜粋でなく、全て掲載しております

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				基準に従い、適切に空間の確保を行っている。また、環境設定として各活動に取り組む範囲を分けている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				基準に従い適切に人員配置を行っている。また、研修等への積極的な参加を促し資質向上にも取り組んでいる。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			・雨の日の子どもの乗せ降ろしの際やりにくい。雨よけになる様な屋根を設置してもらいたい。	設置可能かを検討し適宜対応していく。 (防災・建築の基準がある為)
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%				本人や保護者のニーズを受け各々の成長に沿った支援計画を立て、それに基づいて支援を行っている。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%				職員が日々検討し、計画を行っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30%	56%	14%	・必要と思っていない。	希望されない保護者も多く、実施していない現状である。今後も保護者ニーズをふまえながら実施を検討する。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				今後も継続していく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				送迎時や連絡ノートを利用しながら今後も継続していく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				保護者の不安や悩みに寄り添い、適切な支援に繋がる様取り組んでいく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72%	28%			コロナ以前は毎年開催し、コロナ禍が明け昨年から年に一度保護者勉強会と子供も交えた懇親会を開催している。今年も3月に交流のイベントを開催決定している。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	14%			苦情が寄せられた際には対処マニュアルに従い解決に向かうよう体制を整えている。開所から現在まで苦情を頂いた実績はないが今後苦情要望を頂いた際には真摯に受け止め適切に対応していく。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				今後も送迎時や連絡ノート等を通して情報伝達等を行っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				今後も継続していく。
	14	個人情報に十分注意しているか	100%				今後も継続していく。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	86%	14%			契約時に説明を行っている。定期的に周知を行うよう対応する。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%			十分把握していないだけかもしれない。	6ヶ月に一度避難訓練を実施している。訓練実施の発信が不十分であった事を反省し今後は様子等の発信を行っていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				今後も楽しめる療育活動を提供していく。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%				ご意見に甘んじる事無く今後も適切な事業運営を行っていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。